

校内研修計画

1 研究主題

生き生きと、自ら学ぶ子どもの育成
～複式・少人数学級における学習指導の工夫を通して～

2 研究主題について

(1) 研究主題のとらえ方

「生き生き」とは

「生き生き」とは「活気があふれて勢いのよい様子」をいう。「生き生きと」学ぶための条件として、次の4点が挙げられる。

- ア 何をどのように学習するのが分かっている。
- イ 多様な学び方を知っている。
- ウ 自分なりの考えをもっている。
- エ 自分の伸びを実感できる。

(2) 「自ら学ぶ」とは

「自ら学ぶ」とは、課題解決に向けて主体的に取り組む様子をいう。「自ら学ぶ」ためには、次の2点が重要となる。

- ア 基礎・基本の確実な定着
- イ 自ら考え、自ら解決する力の育成

3 研究の仮説

個に応じたきめ細かな指導を行うとともに、自ら課題解決を進められるような学習指導を工夫することで、児童は、基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、見通しをもって学習を進めることができるようになり、生き生きと、自ら学ぶことができるであろう。

4 研究の内容と方法

(1) 授業づくり

① 基礎・基本の確実な定着

- ◇ 単元や1単位時間に身につけさせたい力の洗い出しと系統性の明確化
- ◇ レディネステストの実施による児童の実態把握と分析
- ◇ 個別支援表の作成と手立ての工夫
- ◇ 一人一人の学習状況に応じた補充、発展学習の工夫

② 自ら考え、自ら解決する力の育成

- ◇ 学び方の定着
 - ・学習意欲を高める課題設定の工夫
 - ・見通しをもち根拠を明らかにし筋道立てて考える学習のための指導の工夫
 - ・自分の考えを分かりやすく説明したり互いに自分の考えを表現し合ったりする学習のための指導の工夫
 - ・自己評価、相互評価の工夫
- ◇ ノート指導、ワークシートの工夫と活用

(2) 環境の整備・充実

① 基礎・基本を身につける日常指導

- ◇ 朝自習の進め方と内容の充実
- ◇ 家庭学習の習慣づけ
- ◇ 読書活動の充実

② 基本的な学習態度の育成

- ◇ 学習の心構え（あいさつ・返事・言葉遣い、学習の準備、姿勢、声の大きさ等の育成）
- ◇ 話し方、聞き方、話し合いの仕方、発表の仕方、ノートの使い方

